

十月一日付で小松悌之助さん（写真右、上通32歳）と佐藤謙さん（同左、館西25歳）が町交通指導隊員に発令されました。今回の発令は、四十五年以来四年余を町民の交通事故防止に尽力された長谷山博昭氏の仙台市榮軒に伴う後任及び欠員補充によるものです。

九月三十日開かれた第六回町議会定例会は、会期を十月五日までの六日間と定めたあと五議員による一般質問が行われ、続いて昭和四十八年度一般会計決算および国民健康保険事業など四つの特別会計決算の審査、天災等による災害をうけた町民に対する災害弔慰金の支給や災害援護資金の貸付けに関する条例制定など議案十九件、認定一件、報告三件を審議決定したほか、町内の水道普及率を向上させるため議会内に「水道対策特別委員会」を設置、陳情五件の全案件を審議して十月五日閉会しました。

災害援護資金の貸付など

19議案を審議可決

= 9月議会 =



町の概況	
人口総数	6,731
うち男	3,285
うち女	3,446
世帯数	1,530
面積	148.51km ²

東由利町報

No 216 の① 昭和49年(1974) 11月 1日

発行 秋田県東由利町役場 印刷 K.K.本間印刷所

毎月 1日発行 (1部20円) 昭和42年7月21日第3種郵便物認可

町功労者に4氏決定

晴れの表彰式は「文化の日」に



小松三治郎氏



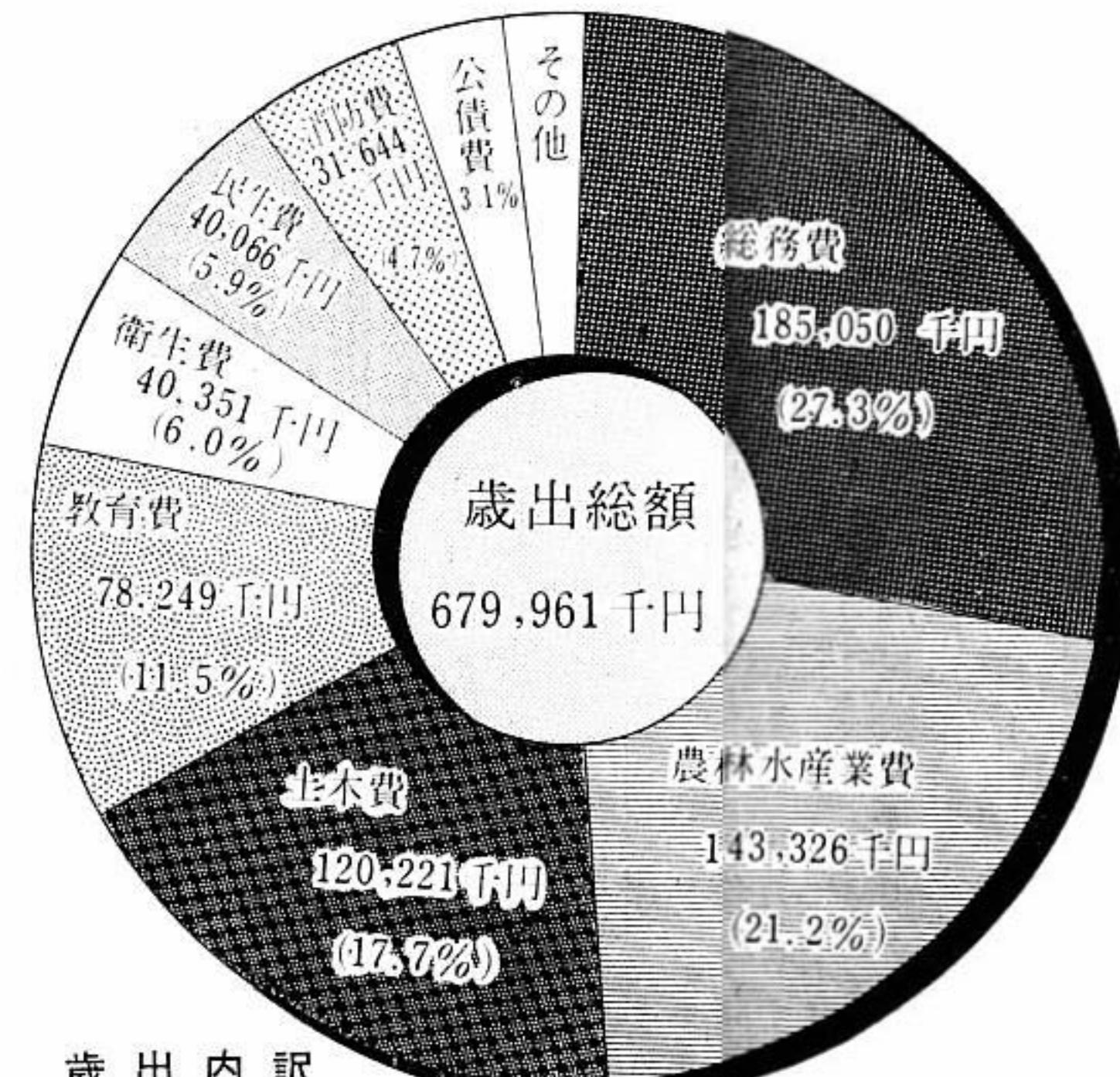
小松忠一郎氏



伊東与吉氏



故佐々木宇一郎氏



歳出 訳

議会見の
関係

非違なく適正妥当

に「救済の手」

金山線沼まで町道に

ハサバ線は町道廃止

1,830万円を追加

特別委員会を設置

町の概況

人口総数

うち男

うち女

世帯数

面積

</div



小松昭光さん

秋の農作業が終わると本格的な出かせぎの季節を迎えます。今年は長雨の影響で農業が大きく遅れていますが、それに輪をかけるかのように不況ムードが漂い、出かせぎ求人も暗い見通しになっています。

今年度の求人傾向は、建設業関係を除いて軒なみ減っています。町では、こうした厳しい出かせぎ求人情勢に対処、安心して就労するため、最低限次出かせぎ就労先でのトラブルも多くなるものと懸念されています。

苦節八年ついに栄冠

司法試験 昭光さんも合格

前号で、苦学の末司法試験に合格、研修にいそしんでいる小松平内さんを紹介しましたが、期せずして同じく宇戸坂出身の小松昭光さん(32歳、江市住)の苦節八年目の司法試験合格が発表されました。

相次いだこの朗報は、あたかも本町民が秘める精り強い闘志と根性を立証した形となり、町内外に大きな反響を呼んで志と同じくす

小松さんは第二次大戦で父母キンさんの愛に支えられ、三人兄妹のまん中としてあります。自由を感じないで幼少時を過したと言われます。

春、小山台高校夜間部に入学し、小学学校の警備員になるなど、司法試験をめざして敵し、何かと制約の多いイバラの道を歩みながら、昭光さん(32歳、江市住)は名門都立新宿高校へ入り

を失っていますが、気丈夫な母娘の夢が再燃。一年目の春、勤労学生になっています。しかし、何かと制約の多いイバラの道を歩みながら、昭光さんは二年間の研修を終え、弁護士への道を進みます。

单答式では合格点をとりながら論文で厚い壁を破れず、以来、小学校の警備員になるなど、司法試験をめざして敵し、何かと制約の多いイバラの道を歩みながら、昭光さんは二年間の研修を終え、弁護士への道を進みます。

努力を怠らず大成してほしい限りで開業、町民の皆さんに見てお役にたつてもいい」と、ホットした表情の中に新たな希望を感じます。

11月は事業税の納期

十一月は個人事業税第二期

分の納期です。納通税申書が届き次第、もよりの農協、郵便局、信用金庫等で納付を

ます。

また水平撃ちには大きな危険が伴うので、絶対にやめま

す。

A.K.T.の社会保険制度番組 視聴を

社会保険庁では、A.K.T.秋田テレビを通じ、毎週土曜の午前11時15分から15分間番組で社会保険制度全般について放送しております、全町民の視聴

をのぞんでおります。

寒さが加わる晩秋から初冬にかけては例年、脳卒中など循環器疾患の発病が増加しています。日常生活の摂生につとめ、発病を未然に防止するよう心がけましょう。

町では、管疾患の早期発見、早期治療を行っていますが、受診者の健康検査をも目で発病を未然に防止し、健康診査を行っていますが、受診者がいま一つバツとせず、それが反省させられています。

本年七月から九月にかけては、管疾患の早期発見、早期治療を行っていますが、受診者がいま一つバツとせず、それが反省させられています。

この検査は、第一次検査の結果が高い等の理由で再検査を必要と判定された五九七人(三〇五人)を対象に、九月に行われました。

この検査は、何らかの異常が予想された人たちだけを対象したにもかかわらず、受診率は第一次のそれよりもさらに低く三五七人(59・8%)と、いう結果に終り、検査や健康に対する町民の無関心ぶりが改めて浮き彫りにされた形となりました。

さて、問題は二次検査の結果が目立ちました。該当者(30歳~64歳)は三、三〇五人でした。受診者は二、四五五人(74・3%)になりました。

この検査は、何らかの異常

が予想された人たちだけを対象したにもかかわらず、受診率は第一次のそれよりもさらに低く三五七人(59・8%)と、いう結果に終り、検査や健康に対する町民の無関心ぶりが改めて浮き彫りにされた形となりました。

これらのことと総合して考

えてみたいと思います。

七月に行なった第一次検査の結果が高いために再検査を必要と判定された五九七人(三〇五人)は、直

接に医療を要する者の一一六

人が反省させられています。

本年七月から九月にかけては、管疾患の早期発見、早期治療を行っていますが、受

診者がいま一つバツとせず、

それが反省させられています。

東由利町報

No. 216の② 昭和49年(1974) 11月1日

発行 秋田県東由利町役場 印刷 K K 本間印刷所
毎月1日発行(1部20円) 昭和42年7月21日第3種郵便物認可



順調な収穫に思わず顔もほころぶ 向田集落農場で

粗収益(10a) 30万円は確実

振興会員

相次ぐ朗報に喜び

町葉たばこ耕作振興会と専売公社が、このほど本年産の葉たばこ生産量調査を抽出で実施したところ、一〇畠当たり

町葉たばこ耕作振興会と専売公社が、このほど本年産の葉たばこ生産量調査を抽出で実施したところ、一〇畠当たり

三割引き上げという近年に実を見られ、豪雪の影響で減産を心配していた関係農家をホットさせています。

その上今度は、前年比四五〇〇疊以上に達することは確

り三四〇疊という予想外の好成績をあげる見られる畠が出てほか、平均して平年を大きく上回り一〇畠当たり三

・三割引き上げといふと見られており、高価格(一キ当たり一、六円)で専売公社の買入価格が決定、相次ぐ朗報にして喜びあっています。

森林は木材を生産するほか國土を守り、水をたくわえておるおいのある環境をつくつてくれます。

国民一人あたりの年間木材消費量は一立方尺にも及ぶと言われ、戦前の実に三・六倍と言われます。消費量は今後もますます増大するものと予想され、二十年後は現在の一

・五倍に及ぶと見られています。

この木材消費に対処するため現在は五五%を輸入外材に頼っているとされていますが将来ともこうした状態が続くとは考えられず、著じるしい木材不足の生ずることが懸念されています。

木材不足に對処、県内の森林内材不足に對処、県内の森林内

表として率先して協力された小野昭一氏や牧山林道開設工事担当者の三人が五色のテープを担当された大沼一広氏に県から感謝状、町から記念品が贈呈されました。

また、同林道開設に地元代表と小松町長、小田島林務部長、小野昭一氏として小野議員の三人が五色のテープを担当された柳沢利一氏らにハサミを入れ、統いて列席、おごそかな神事の全員が数台のマイクロバスに分乗、新林道をパレードし完成を祝いました。

小松町長は列席の来賓各位と大きな謝意を表し、かいつて行なった完成式典で、まんでも同林道の開設経過を述べたあと、「本林道は国県の小貫由利農林事務所長が工



五色のテープにハサミを入れる左から小松町長、小田島林務部長、小野昭一氏

克雪管理センターの建築発注 分だけは一階部分は年度も館舎(第2地区)を予定

午前十一時から起点の下吹事場で行われた開通式には、小田島林務部長ら県関係者や地元住民、町議会議員ら多数が列席、おごそかな神事の完成を祝いました。

小松町長は列席の来賓各位と小貫由利農林事務所長が工事後、全線をパレード

お年玉つき年賀ハガキ 発売は5日から

昭和五十年用お年玉つき年賀ハガキ(10円・11円)一種類が11月5日から全国一斉に発売(本町内十八万八千枚)されます。購入や印刷等はお早めに準備を。

小松町長は列席の来賓各位と小貫由利農林事務所長が工事後、全線をパレード

お年玉つき年賀ハガキ 発売は5日から

九月二十七日、四カ年の歳月と約一億円を投じて完成した幹線林道土場沢線(既報)の完成式が地元住民ら多数の列席のもとに盛大に行われました。

昭和五十年用お年玉つき年賀ハガキ(10円・11円)一種類が11月5日から全国一斉に発売(本町内十八万八千枚)されます。購入や印刷等はお早めに準備を。

小松町長は列席の来賓各位と小貫由利農林事務所長が工事後、全線をパレード

お年玉つき年賀ハガキ 発売は5日から

九月二十七日、四カ年の歳月と約一億円を投じて完成した幹線林道土場沢線(既報)の完成式が地元住民ら多数の列席のもとに盛大に行われました。

